

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年01月12日

計画の名称	おかざき下水道強化計画（防災・安全）（重点計画）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	岡崎市											
計画の目標	下水道整備を行い、命と暮らしを守る総合的な事前防災・減災を促進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,915	A	4,915	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R2	中間目標値 R4	最終目標値 R6
1	総合地震対策計画に基づく管路の機能確保率を45.5%（R2）から47.0%（R6）に増加させる。 管路の機能確保率	46%	46%	47%
2	避難所にマンホールトイレを整備することで災害時の使用可能人口の割合を62.7%（R2）から66.0%（R6）に増加させる。 下水道事業計画区域内の広域及び一時避難所における災害時の使用可能人口の割合	63%	64%	66%
3	ポンプ場の機能確保率を87%（R2当初）から100%（R2末）に増加させる。 ポンプ場の機能確保率（その他関連する事業を含む） 下水道施設の耐震対策指針に準ずる耐震性能を確保した施設（箇所）/全施設数（箇所）	87%	100%	100%
4	ストックマネジメント計画に基づき、改築を実施した対策実施率を0%（R2）から100%（R4）に増加させる。 ポンプ場の長寿命化対策実施率（ストックマネジメント計画に基づく） 下水道施設の改築を実施した資産数/ストックマネジメント計画に位置付けを行った資産数	0%	100%	100%
5	ポンプ場の長寿命化計画に基づき、更新を実施した対策実施率を71%（R2当初）から100%（R2末）に増加させる。 ポンプ場の長寿命化対策実施率（その他関連する事業を含む） 長寿命化対策を実施した資産数/長寿命化計画に位置付けを行った資産数	71%	100%	100%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

計画の成果目標（定量的指標）				
番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2	R4	R6
6	都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率）を85.6%（R2）から85.8%（R6）に増加させる。 都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率） 概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全な下水道整備が完了している区域の面積の割合=（1/5確率降雨相当の雨水整備完了面積（ha）） / （1/5確率降雨相当の雨水整備を実施すべき区域の面積（ha））	86%	86%	86%
7	耐水化計画に基づく災害（浸水）時におけるポンプ場の機能確保率を0%（R4）から25%（R6）に増加させる。 耐水化計画に基づく災害（浸水）時におけるポンプ場の機能確保率	0%	0%	25%

備考等 個別施設計画を含む 国土強靱化を含む 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含む - 流域水循環計画を含む 地域再生計画を含む - 避難確保計画の策定 避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(合流)	改築	下水道総合地震対策事業	管渠耐震対策	岡崎市						200	-	
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-002	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(汚水)	新設	下水道総合地震対策事業	災害対応トイレ5箇所	岡崎市						80	-	
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-003	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ場	改築	下水道総合地震対策事業	汚水中継ポンプ場耐震化	岡崎市						40	-	
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-004	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ場	改築	下水道ストックマネジメント支援制度	ポンプ場改築	岡崎市						1,535		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-005	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ場	改築	下水道長寿命化支援制度	ポンプ場改築	岡崎市						80		策定済
		下水道長寿命化計画																	
	A07-006	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(雨水)	新設	通常の下水道事業(浸水対策)	雨水管 1350 ~ 3000 L=2, 400m	岡崎市						1,720	-	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	867	741	178		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	867	741	178		
前年度からの繰越額 (d)	0	658	614		
支払済額 (e)	209	785	636		
翌年度繰越額 (f)	658	614	156		
うち未契約繰越額(g)	217	344	87		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	25.02	24.58	10.98		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	令和2年度の補正を含むため	令和3年度の補正を含むため	令和4年度の補正を含むため		

事前評価チェックシート

計画の名称： おかざき下水道強靱化計画（防災・安全）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画（流域別下水道整備総合計画、全県域汚水適正処理構想等）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 岡崎市下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 関連する他事業の計画（矢作川・境川流域下水道等）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 各種事業計画（総合地震対策計画、ストックマネジメント計画等）が策定され、適合している。	○
I. 目標の妥当性 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○